

9/16 第2回 身近な異文化交流 を受けての感想

今回は、主にホームステイについてのお話でした。

受講生の海外経験は、ホームステイ経験者、海外の個人宅に泊まった、海外に行ったことがない人など色々でした。しかし、ホームステイの受け入れはしたいかとの問いかけには、尻込みする人がほとんどでした。

海外の人をもてなさなくてはと真剣に考えてしまう「おもてなし」の心が、ホームステイに興味があるけれど受け入れはできない一因のようです。

ホームステイは、ホームビジット(1泊2日)や、長期(1ヶ月)など色々あるそうです。

必要なのは、曖昧なことは言わず、イエス・ノーをはっきり言う。やさしい(簡単な)日本語で話す。と、私は今日の講義を受けて思いました。

例えば、「明日雨だから、山には行けないね」の会話から、山には行かないが他の所へ行くと推測しますが、日本語が母国語でない人は、山にはの「には」の助詞がわからず「行かない」の言葉から何処へも行かないと、思ってしまいます。なるほど、やさしい日本語を使おうと思いました。

講義を受けると毎回、新しい発見があり、目の前の世界が広がるような気がします。

今回は、色々な海外からの学生を受け入れることを想定してグループ別に発表しました。

食事？話題？何処へ行くか？各グループの発表を聞いて思ったのは、小松市は海外の人に見てもらいたい場所がたくさんあると再発見しました。(講座の趣旨から外れたかもしれませんが今日の講義を受けての一番の驚きでした)

講義を受けての今日のミニ情報

- ・国によっては犬や猫が触れない人がいる
- ・気軽に神社やお寺に行けない(信仰心)人もいるから観光案内の前に確認する

小松市に居ながらにして海外の人のことがわかり、毎回あっという間の2時間です。